

子供たちのためになる教科書を。



教科書を作る上で特に心がけていることは何ですか？

他の出版社の教科書作りはほとんどの場合、社内にある編集部主導で執筆し、それを外部の監修者にチェックしてもらい編集しています。それに対して弊社は、執筆するのは実際に授業をされている先生方です。教科書制作

弊社は小学校の体育と保健体育の教科書を作っている出版社です。執筆をお願いしている中四国の先生方のご協力のもと、教育現場の声を活かした、子供たちのためになる教科書作りを心がけています。



専務取締役  
田中 誠也

の基になる学習指導要領だけでなく、現場から得られる生の情報を盛り込んでいるのが他社と大きく違うポイント。内容の正確さはもちろんですが、いかに子供たちのためになる本を作るかに心を砕いています。



教科書ができるまでの流れを教えてくださいました

教科書の出版分野に参入したきっかけを教えてください。

昭和31年に四国の体育の先生方が集まり、教科書を作りたいと先代社長を尋ねて来られました。関東・関西の出版社とは理念や執筆方法で折り合わなかったのを「先生方と子供たちのための良い本を作るなら」と引き受けたのが始まりです。先代の地域貢献と奉仕の精神を、弊社は今も受け継いでいます。

少子化に伴って、教科書の需要も減ったりしていますか？

児童数は毎年約2%ずつ減っていて、この業界も少子化の波の直撃を受けていますね。その中で

シェアを獲得するため、出版各社は様々な工夫を凝らしています。また教科書の基礎になる学習指導要領が10年に一度改訂されますが、この時は内容が大きく変わるため弊社の教科書と理念を知ってもらうチャンスでもあります。

教科書に付随したデジタル教材も社内で作しているのですか？

弊社の場合、体育と保健のDVDは、撮影から編集まで全て社内で行っています。また平成32年にはタブレット等のデジタル教科書の使用が認められますので、さらへも既に対応しています。実際に活用されるかどうかは未知数ですが、先取りで作っておかないと乗り遅れますからね。現在は視覚障害を持つ児童用の拡大教科書等も制作しています。

現在使われている小学校体育の教科書



動画の撮影や編集も社内で行っています



株式会社文教社

香川県高松市本町6-22  
TEL:087-851-2330  
FAX:087-851-2331  
設立:昭和24年  
資本金:1,000万円  
従業員数:5名



<http://www.bunkyo.co.jp>

地方では珍しい教科書の出版社が香川にあることに驚きました。4年もかける教科書作りの大変さや、子供たちのためをモットーにした大手ではできない地域密着型の教科書作り。少子化の中生き残るための工夫やアイデアが印象的でした。

香川大学経済学部  
2年 岩田さん

